

平成28年度 丹後広域振興局 運営目標

運営目標		達成区分	達成状況(数値目標の実績・達成率 未達成の要因・理由)
1	海の京都DMOとの連携により、「大交流」の時代に向けて、観光入込客数660万人、観光客一人当たり消費額6千円を目指し、新たな「海の京都観光圏」を形成し観光誘客を図ります。(28年度目標:観光消費額 10億円増)		
達成手段 (数値目標)	① 2市2町の戦略拠点において策定されたマスタープランの実現に向けた取組を支援するとともに、新たな魅力発掘や周遊交通プランづくりの事業等を実施します。 ・<「地域構想美観推進事業」を活用した関連施設の外装改修等景観形成支援 10施設以上(27年度実績 6施設)> ・丹後半島ブランド価値発掘・発信事業 <コンセプトツアー、新たな体験プログラム、広域周遊交通プランの積極的広報による誘客 参加者数 15,000人(28年度新規)> <まちづくり団体、観光協会と連携した体験プログラムの動画による発信 10メニュー(28年度新規)> <中京圏・京阪神の旅行会社へのファミトリップ・商談会の実施 旅行会社 10社(28年度新規)> <大学や観光関連専門学校によるバーチャル旅行会社による魅力発掘・発信 参画学校数 2校 参画学生数 40人(28年度新規)>	◎	・地域構想美観推進事業 9施設採択(90%) ・体験プログラム等参加者数 15,278人(102%) ・体験プログラム動画の発信 10メニュー(100%) ・ファミトリップ・商談会の実施 旅行会社19社 メディア2社参加(100%) ・バーチャル旅行会社 参画学校数 2校 参画学生数 44人(110%)
	② 「海の京都2016」を開催し、「海の京都」の魅力を全国に発信します。 <ウォータープロジェクションショー、ビーチスポーツフェスティバルの合同開催 来場者数 1万人(28年度新規)> <観光地域づくりマネージャーと連携した滞在型ツアーの実施 10ツアー以上(27年度実績 6ツアー)> クルーズ船寄港に伴う丹後地域でのオプションツアー等誘致の実施	◎	・ウォータープロジェクションショー、ビーチスポーツフェスティバル来場者数 19,300人(193%) ・滞在型ツアーの実施 26ツアー(260%) ・海の京都DMOと連携したクルーズ船オプションツアー掲載への売込みを実施
	③ インバウンド対策を推進します。 <海外からの教育旅行インバウンド受入のための旅行会社やメディアなどのファミトリップ実施 ファミトリップ 2回(27年度実績 1回)、ツアー 1回(27年度実績 1回)>	◎ △	・教育旅行受入のためのファミトリップ実施 2回(8校、5社参加) ツアー 0件 【未達成の要因・理由】 中国からの受け入れを予定していたが、政治情勢により見送られたため ・京都市内ホテルコンシェルジュを対象にしたファミトリップ、訪問を実施 ファミトリップ参加 3ホテル 訪問12ホテル(各3回訪問) ・インバウンドセミナーを開催、宿泊施設等での決済システム導入を促進 決済システム26施設導入、クレジット端末19施設導入
	④ 「海の京都」の歴史の拠点づくりを推進します。 大陸の玄関口である丹後から日本国内に伝播した歴史・文化の情報発信拠点施設としての「丹後歴史文化博物館(仮称)」の基本計画策定 <海の京都特設展示「生誕300年 与謝蕪村展」の開催 1,000人(28年度新規)> <丹後の歴史的魅力を紹介する特別展・企画展の開催 4企画展等(27年度 5企画展等)> <地元と協働した文化体験事業の企画立案の検討及び試行 試行事業の実施 2回(28年度新規)>	◎	・「丹後歴史文化博物館(仮称)」について、地元意見聴取会議を3回、有識者等による基本計画策定検討会議を1回実施し、基本計画(案)を作成 「生誕300年 与謝蕪村展」1,737人(174%) 特別展・企画展の開催 5企画展等(125%) 試行事業の実施 3回(150%)
	⑤ 山陰近畿自動車道・大宮峰山道路(H27～直轄権限代行)の事業促進を支援します。 (仮称)大宮峰山ICアクセス道路の概略ルート案作成	◎	概略設計作成 都市計画決定に向けた連絡会議開催
	⑥ 自転車道(田井大垣、加悦岩滝)と天の橋立線の自転車利用環境の向上を図り、観光資源として活用します。 サイン整備等によるルートの明確化 舗装修繕による走行環境の改善	◎	改善箇所、周遊サインの全体計画原案作成
	⑦ 海が見える牧場「碓高原牧場」を観光資源として活用します。 <観光客数 31,000人(27年度実績 30,922人)> <畜産ふれあいファーム開催 1回(27年度実績 1回)> <園児・児童・学生の畜産体験学習の受入 370人(27年度実績 366人)>	○	観光客数 29,670人(96%) 畜産ふれあいファーム開催 1回(100%) 畜産体験学習の受入 383人(104%)

運営目標		達成区分	達成状況(数値目標の実績・達成率 未達成の要因・理由)
2	競争力のある「ほんまもん京ブランド」品目の農産物出荷額3.8億円を目指すとともに、丹後産コシヒカリの特A評価を再度獲得するなど、丹後の強みを活かした製品を増強します。		
達成手段 (数値目標)	① 丹後産コシヒカリの特A評価の奪還と、これを実現させる産地全体の技術の底上げを行います。 ＜丹後産コシヒカリの特A評価を再度獲得し通算13回達成 特A(27年度実績 A)＞ ＜特A評価につながる、良食味共励会出品の食味値80以上の割合 70%(27年度実績 71%)＞	△	・A評価 【未達成の要因・理由】 刈り取り適期の断続的な降雨により収穫が遅れたため品質が低下 ・良食味目標達成者82%(117%)
	② 地域を上げた環境に優しい農業を推進します。 ＜丹後地域水稲有機農業研究会会員数 20人(27年度実績 17人)＞ ＜エコファーマー数 累計375人(27年度実績 累計345人)＞	○	・丹後地域水稲有機農業研究会会員数 20人(100%) ・エコファーマー数 362人(97%)
	③ みずな、九条ねぎなど京のブランド製品の生産拡大を推進します。 ＜年間出荷額 3.8億円(27年度実績 3.7億円)＞ ＜京たんご梨ブランド出荷率 32%(27年度実績 18%)＞ 夏季に提供できる新たなブランド梨候補として「凜夏」、「早優利」の栽培技術を確立 開発農地での加工出荷用野菜(九条ねぎ、西洋にんじん等)栽培拡大のための技術を開発 ＜京夏ずきん、紫ずきんの出荷調整技術の確立による面積の拡大 15ha(28年度新規)＞	○	・年間出荷額 3.8億円(100%) ・京たんご梨ブランド出荷率 20%(63%) 【未達成の要因・理由】 収穫時期の長雨による糖度の低下 ・「凜夏」、「早優利」とともに、夏季(盆前)に高品質果実を収穫できる技術を確立し、既存品種と組み合わせた営農体系の指標を作成。 ・加工用ネギの品種として『夏あんじょう』を選定。ニンジンにはジュース用として3品種に絞り込み、商品化目途。 ・京夏ずきん、紫ずきんの栽培面積 13.8ha(92%)
	④ 京都府オリジナル酒米品種の「祝」と「京の輝き」について、京都酒米振興プロジェクト丹後部会の活動を通じて、酒造業界からの要望数量を満たすよう生産を拡大します。 ＜作付面積 [祝]68ha(27年度実績 68.1ha) [京の輝き]170ha(27年度実績 179.6ha)＞ ＜生産量 [祝]240t(27年度実績 240t) [京の輝き]870t(27年度実績 970t)＞	○	・作付面積 [祝]67ha(99%) [京の輝き]175ha(103%) ・生産量 [祝]230t(96%) [京の輝き]973t(112%)
	⑤ 食品企業と連携した加工用野菜産地の拡大を進めます。 ＜契約企業 9社(28年度新規) 180百万円(28年度新規)＞	○	・契約企業 9社(100%) ・販売額 186百万円(103%)
	⑥ 丹後地域の魅力ある「食」を安心・安全かつ高品質で提供するため、ブランド水産物の生産拡大を推進するとともに、「丹後とり貝 増産プロジェクト(仮称)」(水産総合振興センター)をスタートします。 ＜「丹後とり貝」「丹後ぐじ」「育成岩がき」の販売総額(中丹地域を含む) 235百万円(27年度実績 235百万円)＞ ＜高鮮度サワラの出荷量の拡大 5t(28年度新規)＞	○	・販売総額 218百万円(93%) 内訳:丹後とり貝138、育成岩がき49、丹後ぐじ31 ・出荷量 43.4トン(868%)

運営目標		達成区分	達成状況(数値目標の実績・達成率 未達成の要因・理由)
3 地域一体となって丹後の食の魅力の戦略的PRや地域ブランディングを進めます。			
達成手段 (数値目標)	① 「丹後といえば、美味しいものを食べに行くところ！」のイメージ定着に向け、関係団体や事業者と連携し食の魅力づくりを推進します。 ・<丹後グルメフェスティバル、道1グランプリのジョイント開催 来場者数 50,000人(28年度新規)> ・丹後道の駅スタンプラリーの開催(夏季) ・丹後王国を核とした道の駅直売所等の魅力向上や販売促進 顧客ニーズの把握や魅力ある賞品づくりのための講習会の開催 ・<専門家による個別経営診断やコンサルティング 6事業者(28年度新規)> ・丹後の地酒魅力発信 ・<酒蔵と酒米生産者との交流会の開催 2回(28年度新規)> ・<都市部の飲食店や量販店において地酒の販促活動を展開 1回(28年度新規)>	○	△ ・丹後グルメフェスティバル開催 33,650人(67%) 【未達成の要因・理由】 台風接近により来園者が減少したため ・丹後道の駅スタンプラリー 開催 ・商品づくり講習会の開催 開催 ・専門家派遣 3事業者(50%) 【未達成の要因・理由】 派遣要望が減少したため ・酒蔵と酒米生産者との交流会開催 2回(100%) 8/23 「京の米で京の酒を」推進大会 (野田川わーくばる) 丹後の地酒の試飲、利き酒体験の開催 開催 9/18～9/19 丹後グルメフェア (丹後王国「食のみやこ」) ・販促活動 1回(5/13～17イオン京都五条)(100%)
達成手段 (数値目標)	② 丹後の食の魅力を観光客に提供したり、ビジネス連携推進会議や関係機関と連携して都市圏の大型商業施設でPR・販促活動することにより地域ブランディングを推進します。 ・<「丹後うまいもんフェア」等の開催 10回(27年度実績 10回)> ・大型量販店での丹後産品の常設コーナーの設置やネットショップでの取扱い	◎	・開催回数 10回(100%) ・京都南部の量販店で丹後産農産物の常設販売コーナーを設置
達成手段 (数値目標)	③ 丹後産茶の6次産業化推進による経営強化、知名度向上に向けたPR活動を展開し、お茶の販売を強化します。 ・<売上高 600万円(27年度実績 558万円)>	◎	・売上高727万円(121%)
4 TPPの影響を受けない高級牛肉を産出する和牛子牛の生産拡大を推進します。			
達成手段 (数値目標)	① 遺伝能力の高い子牛の安定供給を図るため、「和牛育成マニュアル」による付加価値を高めた子牛を育成するとともに、和牛受精卵の供給を進め、和牛子牛の生産拡大と府内肥育農家の良質な和牛肉生産を支援します。また、丹後産和牛肉生産・提供に向けた仕組みづくりを検討します。 ・<子牛出荷頭数 70頭(27年度実績 62頭)> ・<子牛生産頭数 70頭(27年度実績 71頭)> ・<受精卵供給率 90%以上(譲渡個数/譲渡希望個数)(28年度新規)>	○	○ 子牛出荷頭数 66頭(94%) 子牛生産頭数 66頭(94%) 受精卵供給率 100%(111%)
達成手段 (数値目標)	② 碓高原牧場において交雑種(乳牛♀×和牛♂)を飼育し、和牛受精卵の2卵移植により和牛子牛を効率的に生産し、繁殖農家に譲渡することで和牛子牛の生産拡大を支援します。 ・<交雑種雌牛導入頭数 20頭(生産した子牛の譲渡開始は29年度以降)(28年度新規)>	◎	◎ 交雑種雌牛導入頭数 20頭(100%)
達成手段 (数値目標)	③ 碓高原牧場において、農家から受胎が難しい繁殖雌牛を預かり、リハビリ放牧や繁殖技術を駆使した集中的な繁殖管理で受胎させ、妊娠牛として譲渡(返却)し、農家の生産性向上を支援します。 ・<不受胎繁殖雌牛受託頭数 30頭(28年度新規)>	◎	◎ 受託頭数 32頭(107%)

運営目標		達成区分	達成状況(数値目標の実績・達成率 未達成の要因・理由)
5 丹後の特色をいかした新たな商品の開発や食関連ビジネスを創出します。			
達成手段 (数値目標)	① 丹後地域アグリネットを活用した農業ビジネスの掘り起こしや農工商連携応援ファンド等により、丹後の食を活かした異業種交流や6次産業化、ソーシャルビジネスなどの取組を支援します。 ＜取組支援件数 20件(27年度実績 20件)＞	◎	・取組支援件数 20件(100%)
	② 食関連ビジネスの拡大のため、地域の10次産業化拠点である丹後王国「食のみやこ」において地域の食材を活かした新しい商品の開発を支援します。 ＜丹後王国「食のみやこ」における新たな商品等の開発件数 7件(27年度実績 7件)＞	◎	・丹後王国「食のみやこ」における新たな商品等の開発件数 7件(100%)
	③ 地域の農林水産物の特性を活かした加工品を開発します。 ＜試作品支援数 5品(27年度実績 5品)＞	◎	・試作品支援数 5品(100%)
	④ 鹿・猪肉の有効利用を推進するため、食資源としての普及PR活動を推進します。 ＜管内提供店舗 25店舗(27年度実績 23店舗)＞ ＜普及PR 2回(27年度実績 2回)＞	◎	管内提供店舗 25店舗(100%) 普及PR活動 2回(9/18～19開催グルメフェスティバル) (100%)
6 丹後王国「食のみやこ」における10次産業化を推進します。			
達成手段 (数値目標)	① 「海の京都」とも連携し、丹後地域の「食」の魅力発信により、丹後観光の拠点化を推進します。 ＜丹後王国「食のみやこ」の入園者数 60万人(27年度実績525,566人)＞	△	・丹後王国「食のみやこ」の入園者数 47.4万人(79%) 【未達成の要因・理由】 秋の天候不順による減、降雪によりイベントが中止となったことによる減
	② 栽培から調理、サービス、加工・販売等までの研修による地域の「食」を支える人材育成を展開します。 ＜実践学舎生や地元農家・グループ等の料理開発や加工研修による人材育成 100人(27年度実績 90人)＞ ＜地域の将来を担う高校生等による「高校生レストラン」への参画高校数 7校(27年度実績 7校)＞	◎	・実践学舎生や地元農家・グループ等の料理開発や加工研修による人材育成 102人(102%) ・地域の将来を担う高校生等による「高校生レストラン」への参画高校数 7校(100%)
7 新たな就農者や漁業就業者を確保するなど、担い手の確保育成や農林水産業の生産基盤を整備します。			
達成手段	① 丹後農業実践型学舎生の技能向上・経営力向上への指導と合わせ、就農を見据えた支援を実施します。 ＜地域の農家や農業法人との交流・研修の実施 19回(27年度実績 19回)＞	◎	地域の農家や農業法人との交流・研修の実施 20回(105%)
	② 大規模畑作経営を目指す丹後農業実践型学舎の運営を支援するため、丹後国営開発農地の営農条件整備を推進します。 ＜整備面積 9ha(27年度実績 6.3ha)＞	△	整備実績面積A=6.3ha(70%) 【未達成の要因・理由】 暗渠排水や揚水機等の整備を行ったことにより、畑地整備が減ったことによる。
	③ 農業を支える多様な担い手を確保育成するとともに、新規就農者を育成するための農業法人の担い手育成機能を強化します。 ＜新たな中核的農家の育成数 20人(27年度実績 20人)＞ ＜新規就農者数 30人(27年度実績 30人)＞ ＜作目・販売先等の就農のイメージを明確に描ける受講者の育成割合 70%(27年度実績 76%)＞ ＜新規就農希望者の研修を行う法人数 8法人(27年度実績 8法人)＞ ＜米価低迷の中で、有利な品目として転換した京野菜、飼料米、花き等の売上げが増加する法人 2社(27年度実績 2社)＞ 丹後農業実践型学舎卒業生の経営の安定化を支援	△	・新たな中核的農家の育成数 8人(40%) 【未達成の要因・理由】 学舎生等の減により新規就農が伸びなかったため ・新規就農者数 22人(73%) 【未達成の要因・理由】 (景気回復により)新規就農希望者が減少したため ・担い手育成講座を4回実施 育成割合 100%(143%) ・新規就農希望者の研修を行う法人数 8法人

運営目標		達成区分	達成状況(数値目標の実績・達成率 未達成の要因・理由)
(数値目標)	<p>④ 「海の民学舎」を運営し、新規就業希望者の実践研修や若手・中堅漁業者の経営研修を行い、漁業の担い手を育成・確保します。 <「海の民学舎」第1期、第2期研修生の漁業、漁村への定着 16人(1期生8人、2期生8人)(28年度新規)> <新規漁業就業者数 未定(27年度実績 54人)></p> <p>⑤ 地域の特産品の規模拡大と担い手の育成します。 ・国営開発農地での特産物育成 <西洋ニンジン、小玉スイカ、加工用キャベツ等の合計栽培面積 1.5haの増(27年度実績 1.5haの増)> <黒大豆枝豆 30a以上の生産者 8戸(27年度実績 6戸)></p> <p>⑥ 茶産地基盤確立に向け、収益性を向上させ、優良茶園化を推進します。 <モデル茶園10a当たりの粗収益 500,000円(27年度実績 435,678円)></p> <p>⑦ 沿岸域の環境保全を図るとともにアワビ、サザエや稚魚を育む藻場の造成を推進します。 <1箇所の造成完了(27年度実績 1箇所の造成内容決定)></p> <p>⑧ 丹後王国「食のみやこ」を拠点とした、丹後国営開発農地等で生産される農産物の新たな流通体系を確立します。</p>	<p>△</p> <p>◎</p> <p>△</p> <p>◎</p> <p>◎</p>	<p>・漁業、漁村への定着13人(1期生7人、2期生6人)(81%) 【未達成の要因・理由】 進路変更等により3人が退会したため ・新規漁業就業者数 未定</p> <p>・栽培面積3.9haの増(260%) ・黒大豆枝豆 30a以上の生産者10戸(125%)</p> <p>△ 【未達成の要因・理由】 ・モデル茶園10a当たりの粗利益325,899円(65%) 春の霜害などにより十分な粗利益が上がりなかったことによる</p> <p>◎ ・藻場1箇所の造成完了</p> <p>◎ ・新たな流通体系により28年11月から出荷を開始</p>
8 平成30年度に野生鳥獣による農産物被害額をほぼ半減(50百万円)します。(平成25年度基準 90百万円)			
達成手段 (数値目標)	<p>① 地域ぐるみで取り組む防除対策支援により、野生鳥獣の被害額を減額します。 <農作物被害額 55百万円以下(27年度実績 56百万円)> <地域からの要望が強い激甚な被害地解消のための防護柵の設置 80km(27年度実績 77km)> <ニホンザルの群れの個体数調整の実施 新規1群(27年度実績 新規4群)> <ツキノワグマ・ニホンザルの出没対策として、集落周辺の誘因物の管理強化 3地区(28年度新規)></p> <p>② 有害鳥獣の安定的な捕獲体制を確保します。 <新規免許取得者 20人(27年度実績 64人)></p> <p>③ シカ等の生息数削減のための捕獲を推進します。 <狩猟・有害による捕獲頭数 シカ5,500頭(27年度実績 シカ7,000頭見込)> <捕獲講習会の開催 2回(27年度実績 2回)></p> <p>④ 複数猟友会の連携による農地周辺での広域捕獲を強化します。 <管内の猟友会の連携による一斉捕獲 8回(28年度新規)></p>	<p>○</p> <p>◎</p> <p>○</p> <p>◎</p>	<p>農作物被害額44百万円(120%) 防護柵設置延長41km(51%) 【未達成の要因・理由】 国の交付金予算削減のため ニホンザル個体数調整 新規1群(100%) 集落周辺の誘因物管理強化3地区(100%)</p> <p>◎ 新規免許取得者42人(210%)</p> <p>○ シカ捕獲頭数5,000頭見込(91%) 捕獲講習会開催3回(150%)</p> <p>◎ 一斉捕獲実施8回(100%)</p>
9 「丹後半島一周・京都の新海遊ルート」の完成等に向けた整備を推進します。			
達成手段 (数値目標)	<p>① 丹後半島に点在する『海の京都』戦略拠点である「天橋立」「伊根の舟屋」「夕日ヶ浦」や、「経ヶ岬」「丹後松島」等の景観地を大型バスで周遊することを可能にする国道178号の整備を推進します。 ・改良事業 蒲入カマヤ工区[事業促進、路肩欠陥の早期規制解消、上野平バイパス[事業促進]、木津バイパス[事業促進]、里波見工区(橋梁)[事業促進]、袖志工区[事業促進] ・防災事業 国道178号(由良～脇、日置～里波見、蒲入～袖志)、綾部大江宮津線(小田)[事業促進]</p> <p>② 山陰近畿自動車道(京丹後大宮IC)から、丹後王国「食のみやこ」やジオパーク拠点「立岩・琴引浜」等の丹後半島の観光拠点へのアクセス道路の整備を図ります。 国道482号(丹後弥栄道路):弥栄工区[完成供用]、丹後工区[事業促進]、国道482号(大山地区)[工区完成] 網野峰山線(郷地区)[橋梁工着手]、掛津峰山線(丹波工区)[事業促進]、国道312号、大宮岩滝線(インターアクセス工区)[1期工事完成]</p> <p>③ 丹後縦貫林道沿線の豊かな自然環境と歴史・分化に培われた丹後の魅力をまもり、活かす取組を推進します。 <眺望の良い箇所でのビューポイントの整備 3箇所(28年度新規)> 丹後縦貫林道を中心とした沿線の観光マップの整備を行い、ホームページに掲載</p>	<p>◎</p> <p>○</p> <p>◎</p>	<p>◎ 蒲入カマヤ工区通行止め解除(H28.6.17) 改良事業、防災事業ともに全工区の事業促進</p> <p>○ 国道482号:弥栄工区[H28.10.23供用] 大宮岩滝線(ICアクセス)[H28.10.30供用]</p> <p>◎ ・ビューポイント整備 3箇所(成相線2箇所、角突山線1箇所)完了(100%) ・観光マップを作成し、ホームページに掲載済み</p>

運営目標		達成区分	達成状況(数値目標の実績・達成率 未達成の要因・理由)
10 エコノミック・ガーデニングの手法を用いて、中小企業の経営革新等に向けた取り組みを支援します。			
達成手段 (数値目標)	① 「中小企業技術応援隊」と「中小企業応援隊」の連携によるオール丹後体制で、中小企業者の経営課題や企業のニーズに応じ、事業主の立場に立って総合的に経営をサポートします。 ＜中小企業応援隊による伴走支援件数 6,000件(27年度実績 5,689件)＞ ＜職員応援隊等による経営サポート 200件(27年度実績 183件)＞	○ ○	・中小企業応援隊による伴走支援件数 6,975件(116%) ・職員応援隊等による経営サポート 191件(96%)
	② 各種支援策を活用して、新たな分野・新事業・新技術に挑戦する中小企業を支援します。 ＜支援事業採択件数 15件(27年度実績 15件)＞	◎	支援事業採択件数 18件(120%)
11 「丹後・知恵のものづくりパーク」における人材育成と施設の有効活用を推進し、地域のものづくりを多角的に支援します。			
達成手段 (数値目標)	① 織物、機械金属の技術相談等を通じた在職者の人材育成を実施します。 ＜延べ5,000人(27年度実績 4,982人)＞	○	織物・機械金属の技術相談を通じた在職者の人材育成 延べ4,799人(96.0%)
	② 次世代を担う若手職人等の育成のための製織・織機調整研究、最新の高精度三次元測定機や3Dプリンタを活用したデジタルデザイン向上のための研修など各種研修会、講習会、研究会等を、テーマや開催時期(夜間や土日の開催も含め)など企業ニーズや受講者ニーズ、地域の事情などを的確に反映し、(公財)京都産業21や業界団体と連携し実施します。 ＜受講者数 延べ3,500人(27年度実績 3,512人)＞	○	各種研修会、講習会等受講者 延べ3,318人(94.8%)
	③ 機械加工などの技能検定のための受検対策講座を開催し、技術力の向上を支援します。 ＜講座理解度 95%以上(27年度実績 98%)＞	○	全22講座において理解度90% (講座理解度については、受講者にアンケートを実施) ・機械製図講習会 ・工作機械基礎セミナー ・3次元CAD入門講座 等
12 「丹後ちりめん創業300年」を見据え、丹後織物・機械金属のブランド力の向上とビジネスモデルを推進します。			
達成手段 (数値目標)	① 「丹後ちりめん創業300年」を見据えた「丹後着物で行き交うまちづくり」を推進します。 ・若手事業者のプロジェクトチームによる「丹後ちりめん創業300年事業」の実施 ＜地元高校生とのコラボ企画への参加事業者数 10社(28年度新規)＞ ・地域イベントでの簡易に着られる着物等を着る機会の創出 ＜地域イベントにおける着物の普及 参加者数 5,000人(28年度新規)＞ ＜簡単に着られる着物レンタル可能イベント数 5件(28年度新規)＞	△	・地元高校生とのコラボ企画への参加事業者数 7社(衣装提供5社、ショー開催補助2社)(70%) 【未達成の要因・理由】 コラボ事業であるファッションショーの所要時間に見合った事業者数としたため ・地域イベントにおける着物の普及 6,308人(126%) ・簡単に着られる着物レンタル可能イベント数 3件(レンタルに向けた普及イベント開催・出展)(60%) 【未達成の要因・理由】 地域との調整に時間を要したため

運営目標		達成区分	達成状況(数値目標の実績・達成率 未達成の要因・理由)	
達成手段 (数値目標)	② 「丹後ちりめん創業300年」を見据え、若手職人の育成を促進するために、「丹後職人工房」を開設するとともに、外部デザイナーの指導や織物職人とインテリアなど装飾デザイナーとのコラボ・交流などを通して競争力のある丹後織物ブランドの製品開発や販路開拓に向け、企業支援を実施します。 ＜企業支援数 40社(27年度実績 40社)＞	○	39社の製品開発を支援(97.5%) ・デザイナー等との協働による和・洋装素材や生活関連商品の新商品、新分野商品開発を支援 ・セミナー、人材育成研修、グループ、個別支援による専門家の商品企画指導	
	③ 「海の京都」等と連携し「丹後のたからもの展」などの展示商談会を東京、大阪などの大消費地で開催するとともに、首都圏百貨店等での常設スペースの活用を通じ、丹後ブランドの販路拡大とビジネスモデル構築につなげます。 ＜展示商談会等 22回(27年度実績 22回)＞		○	展示商談会 21回開催(95.5%) ・4月1日～ 常設展示(高島屋京都店) ・9月7日～13日 「海の京都 丹後シルクの手わざ展示」(三越銀座店) 等
	④ 繊維強化プラスチック等の実用化研究や試作を企業と共同して進めるとともに、機械金属と織物ものづくり企業の新たな分野へのチャレンジに向けた技術的課題に対して支援します。 ＜試作等事業支援件数 8件(27年度実績 8件)＞		◎	試作等事業支援件数10件(125%) ・地域企業を中心とした「京都・丹後コンポジットプロジェクト」の試作(4件) ・京都府ものづくり技術応援事業補助金採択(6件)
	⑤ 伝統産業生産基盤支援事業等を活用し、丹後織物企業等の経営を支援します。		◎	・伝統産業生産基盤支援事業 152件
	⑥ ジェトロ等と連携し丹後織物の技術を活かすことにより、海外のマーケットに合った商品を新たに開発し、海外への販路拡大に取り組む意欲のある企業を支援します。 ＜支援企業数 6社(27年度実績 6社)＞		◎	海外での展示会に向けたものづくり支援事業を実施 支援企業数6社(100%) ・海外での展示会出展に係る支援
13 U・Iターン等を推進し、丹後地域の産業を担う人材の確保・育成を図ります。				
達成手段 (数値目標)	① 北京都ジョブパーク等と連携し、就職説明会などを開催し、丹後地域へのU・Iターン促進及び就職支援を実施します。 ＜北部地域へのU・Iターン就業者数 目標:150人＞	○	◎ ・U・Iターン就業者数 165名(110%)	
	② 企業と連携したものづくり産業と地域の魅力を発信し、「ローカルインターンシップ」受入等による地域人材の確保を推進します。 「丹後ものづくり企業」魅力発信事業 ＜大学や専門学校への売り込み事業者数 10事業者(28年度新規)＞ ＜ローカルインターンシップ参加者数 40人(28年度新規)＞ ＜Iターン者支援の交流会参加者数 160人(28年度新規)＞ ＜織物人材育成研修による就職者数 5人(28年度新規)＞		△	・売り込み事業所数 延べ14事業所(140%) ・ローカルインターンシップ参加者数 8人(23%) 【未達成の要因・理由】 事前の広報に十分時間をかけることができなかつたため ・Iターン支援者の交流会等参加者数 157名(98.1%) ・織物人材育成研修による就職者数 1人(20%) 【未達成の要因・理由】 周知不足。研修と求人タイミングを合わせることが困難だったため
	③ 求人と求職のミスマッチの解消を図るため、ハローワークや北京都ジョブパーク等と連携し、就職面接会や都市部でのフェア等を開催し、就業を支援します。 ＜参加企業社数 延べ500社(27年度実績 443社) 参加者数 900人(27年度実績 905人)＞		◎	・参加企業数 675社(135%) ・参加者数 1,626人(181%)
	④ 北部地域連携都市圏と連携し、移住・定住プロジェクトを推進します。 北部7市町と連携し、窓口ワンストップ化の取組などを支援		○	移住定住に係る担当者会議(5回)・幹事会(5回)などに参画。次年度予算も情報共有し、効果的な事業実施を図る
	⑤ 移住促進条例の制定を契機として、都市部からの移住・定住の促進を図るため、市町の行う空き家改修を支援するとともに、未婚者に出会いの場を提供する「コン活」等に取り組む地域を支援します。 ＜空き家改修 15件(27年度実績 12件)＞ ＜コン活等交流支援 5箇所(27年度新規)＞		○	空き家改修 20件(133%) コン活等交流支援 4箇所(佐濃、養老、大宮南、平田)(80%) 【未達成の要因・理由】 交流ツアーが参加者少数で中止になったため

運営目標		達成区分	達成状況(数値目標の実績・達成率 未達成の要因・理由)
14	山陰海岸ジオパークの世界ジオパーク再認定を目指すとともに、地域住民を主体とした取組を通じて、学術・観光資源として活用し、丹後の魅力発信につなげます。		
達成手段 (数値目標)	<p>① 山陰海岸ジオパークの丹後地域での普及啓発及びエリア拡大の検討を進めます。 <フォーラム等の開催 3回(28年度新規)> 基礎的な調査を実施</p> <p>② 山陰海岸ジオパーク推進協議会と連携し、周遊観光など誘客を促進します。 レンタカー付き旅行商品の造成や広域周遊観光のための市場調査 多言語で情報発信するアプリ開発を実施 <今年度開通予定の京丹後大宮IC等から効果的にPR案内誘導する道路案内標識を設置し、旅行者にジオパークを普及 サイン5基(27年度実績 6基)></p>	◎	<p>◎ 市町向け勉強会、各市町現地調査及び中間報告会、先進地視察 計 8回(267%)</p> <p>◎ ・山陰海岸ジオパーク推進協議会において、レンタカー関連の市場調査及びアプリ開発を実施 ・サイン5基設置(100%)</p>
15	天橋立の世界文化遺産をめざした取組と阿蘇海等の閉鎖性水域の環境改善を推進します。		
達成手段 (数値目標)	<p>① 行政と地域が一体となった松並木保全や海岸の清掃を行い、白砂青松の天橋立を復活を目指します。 <天橋立まもり隊などの活動延べ人数 4,500人(27年度実績 4,185人)></p> <p>② 「阿蘇海の日」等に阿蘇海の恵みに親しむイベントを実施するとともに、学生ボランティア等と連携したカキ殻回収や資源化などに取り組み、広く環境改善意識を醸成します。 「阿蘇海の日」等におけるイベントの実施 <阿蘇海流域環境改善に係るイベント・連携事業の実施 10事業(27年度実績 8事業)> <学生ボランティアの参画人数 延べ1,000人(28年度新規)></p>	△	<p>△ 天橋立まもり隊などの活動延べ人数 28年度3,940人(88%) 【未達成の要因・理由】 あくまでもボランティアであり、増員等の要請は困難。引き続き、新たな団体等の参加を促進するため、PRに努める。</p> <p>◎ ・阿蘇海流域環境改善イベント・連携事業 10事業(100%) →大学生と連携したカキ殻回収等の取組(5回)、地域と協働した清掃活動等(4回)、ポスターコンクール(1回) ・学生ボランティアの参画人数 延1,003人(100%)</p>
16	丹後地域の森林を守り育てる取組を推進します。		
達成手段 (数値目標)	<p>① 森林施業の集約化と未利用間伐材の有効利用を推進します。 <森林経営計画面積 新規策定面積 170ha(27年度実績 178ha)> <素材生産量(森林組合分) 6,000m3(28年度新規)></p> <p>② 府内産木材の利用拡大を促進します。 <緑の交付金制度を活用した木材使用量 450m3(27年度実績 576m3)> <緑の事業体新規登録 1事業体(27年度実績 2事業体)> <府内産木材利用促進会議の開催 2回(27年度実績 3回)></p> <p>③ 地域の森林を地域全体で支えるモデルフォレスト運動の取組を支援します。 <推進地区 8地区(27年度実績 8地区)、参加人員 1,000人(27年度実績 938人)></p> <p>④ 地域と協働した海岸林再生を図ります。 <整備面積 19ha(27年度実績 18ha)></p>	○	<p>△ 森林経営計画新規策定面積 47ha(28%) 【未達成の要因・理由】 地域同意の遅れから認定申請が翌年度に先送り 素材生産量(森林組合分) 3,518m3(59%) 【未達成の要因・理由】 経営計画認定の遅れに伴う事業の遅れ</p> <p>○ 緑の交付金事業府内産木材使用量 449m3(100%) 緑の事業体新規登録 1事業体(登録業種の追加)(100%) 府内産木材利用促進会議開催 2回(連絡会議、説明会)(100%)</p> <p>○ 活動推進地区 8地区(湊宮、箱石、掛津、内山、野間、上世屋、杉山、太鼓山) 参加人員 950人(95%)</p> <p>○ 海岸松林整備面積 18.3ha(96%)</p>

運営目標		達成区分	達成状況(数値目標の実績・達成率 未達成の要因・理由)
17 丹後の優れた自然環境や生活環境を守り、安心して生活できる地域づくりを進めます。			
達成手段 (数値目標)	① 漂着ごみの回収・適正処理を実施し、良好な海水浴場及び景勝地である海岸地域を保全します。 ＜実施箇所 25箇所(27年度実績 25箇所)＞ 海岸及び河川流域の不法投棄防止/パトロールを実施	○ ◎	漂着ごみの回収、適正処理の実施箇所 28箇所(112%) 監視/パトロールの実施 195回
	② 不法投棄防止啓発を積極的に行うとともに、監視/パトロールでの早期発見、迅速かつ厳正な対処に努め、産業廃棄物の不法投棄・不適正焼却・不適正処理を根絶します。	○	監視/パトロールの実施 延3,532箇所
18 交流人口の拡大を図るために地域活性化につながる「スポーツ観光」を積極的に支援します。			
達成手段 (数値目標)	① 地域の関係団体やスポーツ関連団体等と広く協働し、地域の特性をいかしたスポーツ観光の聖地づくりやそれらを通じた個性あるまちづくりを推進し、交流人口増加や地域活性化を推進します。 京丹後市内でのプラットフォームづくり支援 スポーツコミッションの設立 ＜TANTANロングライド参加者数 1,600人(27年度実績 1,533人)＞	○ ○	・京丹後市スポーツコミッション設立に向けて調整中 ・TANTANロングライド参加者数 1,527人(申込数1,667人(過去最高))(95%)
19 地域の防災力を高めるため、人材の養成や避難訓練等を通じて、災害に強い丹後づくりに取り組みます。			
達成手段 (数値目標)	① 津波浸水想定も踏まえた管内市町の地域防災計画の見直しを積極的に支援、地域における災害時等の対応力の向上を図ります。 ・津波の避難体制や要配慮者への避難支援が充実するよう訓練や研修会等を通じて市町の取り組みを支援 ・関連の情報提供や会議等を通じて市町の防災計画の見直しを支援 ・原子力災害を踏まえた住民避難体制の充実等の取り組みを推進 住民避難訓練や意識啓発を高める研修会等の開催	◎	・市の防災訓練支援(2回) ・防災リーダー等研修(2回) ・防災チラシ新聞折り込み(1回)
	② 消防署からの遠隔地域で、消防団や市町と連携して、災害時の救助や傷病者などへの救急救助体制を確立する『ふるさとレスキュー』の取組を支援します。 ＜支援地域 8地域[新規1地域、継続7地域](27年度実績 7地域[新規1地域、継続6地域])＞	◎	・支援地域 8地域(新規1、継続7)(100%)
達成手段 (数値目標)	③ 住民の防災意識の向上に資するための防災情報の提供を行う取組を推進します。 ＜砂防ボランティア等と連携して小学校等において出前講座を継続的に推進 5回(28年度新規)＞	◎	7回開催(京丹後市4回、与謝野町3回)(140%)
	④ 住民の迅速な避難活動を支援するため、水位周知河川等の追加指定を行い、洪水時の警戒避難態勢を強化します。 水防警報河川(予定) 小西川	◎	強化済み
20 河川整備や土砂災害対策等安心安全のまちづくりを推進します。			
	① 暮らしの安全を支えるため、浸水被害が頻発している河川の改修工事を推進します。 加悦奥川[大橋完成]、福田川[福田橋着手]、新庄川、小西川[護岸工着手]、鳥取川、野田川	◎	加悦奥川大橋完成、福田川福田橋橋台1基完成、小西川矢板護岸着手
	② 暮らしの安心・安全を支える土砂災害対策工事を推進(砂防・地すべり事業、急傾斜事業)し、防災・減災を図ります。 ＜土砂災害の発生若しくは恐れがある箇所の砂防・地すべり事業の推進 11箇所[うち3箇所事業完了](27年度実績 9箇所[うち1箇所工事着手])＞ ＜崖崩れの発生若しくは恐れがある箇所の急傾斜事業の推進 8箇所[うち3箇所工事着手](27年度実績 7箇所)＞	○	砂防・地すべり事業 11箇所の内2箇所完了 急傾斜事業 8箇所の内2箇所工事着手

運営目標		達成区分	達成状況(数値目標の実績・達成率 未達成の要因・理由)
達成手段 (数値目標)	③ 災害と雪に強い道路ネットワークを整備し、災害時の避難・救助や物資の安定した供給を図ります。 ・緊急輸送道路の整備を促進 国道178号(蒲入カマヤ工区)(再掲)、(上野平バイパス)(再掲)、国道482号(丹後弥栄道路)(再掲) 国道312号(野中地区)、国道178号(由良～脇、日置～里波見、蒲入～袖志)(再掲) 網野峰山線(岩止橋)の耐震対策の実施 ・緊急輸送路以外の橋梁(50m以上)の耐震補強推進 久美浜湊宮浦明線(湊大橋)、国道482号(三宅橋)完了 ・冬場の幹線道路の安全性を向上させる工事の推進 国道312号(三重・堆雪帯)[用地買収着手]、国道482号(厨ヶ畑・消雪パイプ)[工事促進]、宮津養父線(岩屋峠)[用地買収着手]	○	○ 蒲入カマヤ工区通行止め解除(H28.6.17) 国道482号:弥栄工区(H28.10.23供用) 大宮岩滝線(ICアクセス)(H28.10.30供用) 国道482号(三宅橋)完了
	④ 建築物の安心・安全を確保します。 ・建築物の安心・安全の確保、大規模地震に備えた住宅の耐震対策の推進 府・市町が緊密な連携をとり、広報活動の強化により耐震診断の受診を推進し、診断済家屋に対して、簡易型改修を含めた耐震改修制度の案内を行うとともに、耐震診断結果の個別説明に職員が同席するなど、木造住宅耐震改修(補助)の促進 <耐震診断 70戸(27年度実績 20戸)> <耐震改修(簡易型耐震改修を含む) 30戸(27年度実績 12戸)> ・府民向けに、市町及び建築関係団体との協働による民間木造住宅等の耐震対策の普及や啓発を目的として耐震フェアを開催		△ 耐震診断 25戸(36%) 耐震改修 11戸(37%) 【未達成の要因・理由】 高齢化世帯が多く、子弟等のUターンの可能性も低いことから耐震改修はもとより家屋の維持にも積極的でない世帯が増加。
	⑤ 森林の適正管理のための対策を推進します。 ・平成25年台風18号で被害を受けた地区(山地・溪流)において治山事業による重点的な復旧工事推進 <台風18号山地災害被害額 341,000千円について、復旧進捗率 75%(27年度実績 66.8%)> <災害復旧治山工事推進箇所 3箇所[うち2箇所の復旧進捗1箇所を復旧完了(計2箇所の復旧完了)](27年度実績 2箇所の復旧進捗)>		◎ 復旧進捗率79.8%(106%) 3箇所のうち、残り2箇所の復旧を推進し、うち1箇所が復旧完了(27年度と合せて、計2箇所の復旧が完了)
	⑥ 漁港施設の老朽化対策を進めます。 <老朽化の診断 府営漁港1港(27年度実績 海岸分は調査完了。漁港分は調査繰越)>		◎ 府営漁港1港の診断完了(100%)
21	府立医科大学附属北部医療センターを「北京都安心医療拠点」とした丹後地域の病院や診療所との機能分化、連携体制の強化を図ります。		
達成手段 (数値目標)	① 丹後地域医療構想調整会議において、丹後医療圏の将来の医療需要に即した医療機能の分化と連携を推進します(地域医療構想の策定)。	◎	◎ 3月末「京都府地域包括ケア構想」策定済 丹後圏域では、丹後地域医療構想調整会議等で協議
	② 府立医科大学附属北部医療センター等と連携し、丹後管内の医療提供体制の充実・医療機能の整備を推進します。 ・「北京都安心医療拠点整備検討会」の提言を踏まえ、「北部地域医療提供体制推進会議」等を通じた丹後地域医療機関の診療連携の強化 ・北部医療と介護の連携プロジェクトを推進し、北部医療センターを中心とした病病連携、病診連携や多職種連携による在宅療養の推進 <北部医療センターと、市町地域包括センター、訪問看護ステーション、介護施設等との事例検討会の開催 3回(28年度新規)>		◎ 医療提供体制の充実、医療機能の整備推進 ・北部医療センターと与謝医師会の在宅看取りシステムの稼働 北部地域医療・介護連携プロジェクトの推進 ・事例検討会 4回(133%)
	③ 北部医療センターを拠点に、医療人材の育成・定着支援を実施し、医療提供体制の充実・強化を図ります。 ・北部公的病院における研修・研究用医療機器等の合同研修等による若手医師等の確保 <合同研修会の開催 3病院(27年度実績 3病院)> ・京都府北部看護職支援センター等と連携した看護職確保対策の推進		◎ 合同研修会の開催 3病院(100%) 看護職確保対策の推進 ・就業者数35人

運営目標		達成区分	達成状況(数値目標の実績・達成率 未達成の要因・理由)
22 「たんご健康長寿日本一」を推進します。			
達成手段 (数値目標)	① 企業や団体の健康経営の取組を支援します。 ＜訪問事業所数 100事業所(28年度新規)＞ ＜きょうと健康づくり実践企業認証制度の認証 10事業所(28年度新規)＞ がん検診の重要性の啓発及び精検受診の働きかけ 健康意識や健康行動等、企業団体の意識やニーズ調査の実施 企業等管理者への健康講演会を実施	◎	訪問事業所数112事業所(112%) きょうと健康づくり実践企業認証制度の認証16事業所(160%) がん検診受診促進キャンペーン実施4日875名 健康づくりに関する意識やニーズ調査:575事業所 事業所健康づくり調査報告会開催27名出席 健康経営セミナーの開催1回、健康出前講座6回
	② 青壮年期の生活習慣病の予防と重度化防止を進めます。 ＜たばこの害の知識の普及を目指し、防煙教室を実施 5校(28年度新規)＞ ＜「生命のがん教育」の実施 10箇所(28年度新規)＞ スワンデーの取組を管内事業所に普及啓発	○ △	防煙教室の実施3校(60%) 【未達成の要因・理由】 学校教育の中で学校其々で工夫されながら実施する体制に移行してきた。そのため、実施校数は3校であるが教育媒体の貸し出しによる支援を行った(7校) 生命の教育9校(90%) スワンデーの取組啓発(がん対策推進部会で啓発)
	③ 健康寿命の延伸をめざし、健康づくり事業の取組を推進します。 ＜産学公連携プラットフォーム事業の取組支援 3件(28年度新規)＞ ＜健康長寿コホート事業(丹後活き活き長寿研究)の取組推進 3地区[2市1町](27年度実績 4地区[2市2町])＞	◎	産学公連携プラットフォーム事業の取組支援 3件(100%) 健康長寿コホート事業の取組 3地区(100%)
23 高齢者が安心して地域で生活できる地域包括ケア体制の充実・強化を図ります。			
達成手段 (数値目標)	① 「認知症疾患医療センター(北部医療センター)」と連携し、認知症対策を推進します。 ・医療と介護の連携の強化 ＜若年性認知症相談会の実施 3回(27年度実績 4回)＞ ＜認知症初期集中支援チームの設置 2市(28年度新規)＞ ・認知症の方を支える地域づくりを推進 初期認知症対応型カフェのネットワーク構築支援 ＜SOSネットワークの徘徊捜索訓練の実施 3回(28年度新規)＞ ・丹後地域オレンジロードつなげ隊やサポート企業との協働による周知啓発活動 ＜周知啓発活動の実施 20回(28年度新規)＞ ・認知症高齢者を支える人材を育成 ＜認知症サポーターの養成 1,500人(27年度実績 2,192人)＞	○	若年性認知症交流相談会 3回(100%) 認知症初期集中支援チーム設置2市(100%) 徘徊捜索訓練 1回(33%) 【未達成の要因・理由】 訓練の結果、声かけに課題があり、声かけ体験を主に実施したため オレンジロードつなげ隊による周知啓発 ・周知啓発 23回(115%) ○認知症サポーターの養成2,464人(164%)
	② 多職種協働による在宅医療・介護サービスの充実強化を図ります。 ・住み慣れた地域で人生の最期を迎えられるよう、看取り対策を推進 ＜家族支援交流会の開催 2箇所(27年度実績 2箇所)＞ ・多職種連携による事例検討会やケア会議等を通じて、看取り対応力を向上 ＜検討会等の開催 3回(28年度新規)＞	○ ◎	・家族支援交流会の開催 4箇所(200%) ・検討会等の開催4回(133%)
	③ 地域リハビリテーション支援センターとの連携を図り、地域リハビリの支援体制を強化します。 ＜地域リハビリや介護に従事する職員のスキルアップのための研修会の実施 7回(28年度新規)＞ ＜高齢者サロン等への出張リハビリ講座の実施 40回(28年度新規)＞	◎	・スキルアップ研修会 8回(114%) ・出張リハビリ等講座 58回(145%)
	④ 丹後圏内の地域包括ケアに携わるあらゆる職種が一同に介したイベントの開催を通じて、ケアの質の向上を図ります。 たんご地域包括ケアまるごとフェスタ(仮称)の開催	◎	地域包括ケア実践交流会「お気軽サミットin丹後」開催【12月7日】 250名

運営目標		達成区分	達成状況(数値目標の実績・達成率 未達成の要因・理由)	
	⑤ 地域包括ケアの基盤整備と人材確保を支援します。 ・京都府北部福祉人材養成システムや福祉人材認証育成制度等による福祉人材の確保、定着支援 ＜就業者数 135人(27年度実績113人)＞ ・宮津総合実習センターの整備支援	○	北部福祉人材確保 ・就業者数127(94%) 宮津総合実習センター ・今夏開設(予定)	
24 地域ぐるみの少子化対策を推進し、安心して子育てができる地域づくりを進めます。		○	<div style="border: 1px solid black; height: 20px; width: 100%;"></div>	
達成手段 (数値目標)	① 子育て支援団体や企業と連携し、丹後で産み育てやすい環境づくりを推進します。 ＜丹育ネットと連携し、職域向けの研修会・相談会を開催 10件(28年度新規)＞ 産前産後ケア専門員や産前産後訪問支援員の活動支援			◎ ・研修会・相談会の開催 10回(100%) ・専門員・支援員に実践者交流会2回
② 病気のお子さんを見守る環境整備づくりを支援します。 ＜病後児保育施設の新規開設 1箇所(28年度新規)＞	△ ・新規開設なし 【未達成の要因・理由】 地元市町や関係機関との調整に時間を要した			
③ 不妊治療・不育治療を支援します。 専門機関による出張相談機能の整備	○	「京都府少子化対策丹後地域府民会議」を設立し、地域全体での取組で検討中。		
25 障害者の自立と社会参加を支援します。		○	<div style="border: 1px solid black; height: 20px; width: 100%;"></div>	
達成手段 (数値目標)	① 地域で自立した生活を行うための障害者福祉施設の整備を支援します。 ＜障害福祉サービス事業所(生活介護・就労支援・放課後デイサービス)の新規開設数 1箇所(28年度新規)＞			◎ 障害福祉サービス事業所新規開設 1箇所(100%)
② 障害者就業・生活支援センターを中心に、関係団体、市町と連携し、障害者の就労と定着を支援します。 ＜圏域の就職人数 30人以上(27年度実績 25人)＞	○ 就職人数 27人(90%)			
③ 工賃アップを図るため、企業や大学とのコラボによる新商品の開発、販路開拓を支援します。 ＜新商品の開発品目 10品目(27年度実績 9品目)＞	◎	新商品開発等 14品目(140%)		
26 自殺のサインを見逃さない、自殺のないまちづくりを推進します。		△	<div style="border: 1px solid black; height: 20px; width: 100%;"></div>	
達成手段 (数値目標)	① 「みんなで支えあう丹後こころの支援ネットワーク」の取組を通じて、管内での自殺者数を減少させます。 ＜管内自殺者 27年(16人)より減少(27年度実績 16人)＞ 「京都いのちの日」を中心とした広報・啓発、相談会の実施			△ 管内自殺者数20人(>16人) 【未達成の要因・理由】 自殺の要因や動機を分析中 街頭啓発の実施(9月、3月) 総合相談会の実施(3月)
② 悩みなどに気づき、つなぐゲートキーパーの人材を養成します。 ＜ゲートキーパー研修 受講者1,500人(27年度実績 1,442人)＞	△	ゲートキーパー研修 受講者数 1,275人(85%) 【未達成の要因・理由】 受講者延べ人数が既に地域振興計画(平成30年度末)の5千人を上回ったため、28年度は、当該研修からさらに取組を進め、救急医療現場での自殺未遂者及びうつ状態の人への支援について 看護師等を対象とした研修を行った		

運営目標		達成区分	達成状況(数値目標の実績・達成率 未達成の要因・理由)
	③ 職域や地域における自殺対策の取組を推進します。 <職域のメンタルヘルスの取組を支援 10団体(28年度新規)> <市町と連携し、うつスクリーニングを実施 8回(28年度新規)> <地域のサロン等を活用した居場所の提供 1箇所(27年度実績 0箇所)> 自死遺族のケア		○ メンタルヘルスの取組支援 10団体(100%) うつスクリーニングの実施 9回(113%) ・居場所づくり 新規なし(0%) 【未達成の要因・理由】 開設場所や運営主体の選定が整わなかったため。
27 家畜伝染病防疫対策を徹底するとともに、感染症の予防・拡大防止に努めます。			
達成手段 (数値目標)	① 鳥インフルエンザ、口蹄疫等海外悪性家畜伝染病のまん延を防止します。 <海外悪性家畜伝染病まん延防止状況 発生0件(27年度実績 0件)>	◎	◎ ・鳥インフルエンザ、口蹄疫等悪性伝染病の発生 0件(100%)
	② 家畜伝染病発生予防対策を徹底します。 ・飼養衛生管理状況の点検・指導 <偶蹄類 2回(27年度実績 2回)、養鶏[千羽以上] 4回(27年度実績 4回)、養鶏[自家用] 1回(27年度実績 1回)> ・鳥インフルエンザ侵入監視 サーベイランスを四半期毎、モニタリングを3採卵養鶏農家について毎月実施	◎	◎ ・飼養衛生管理点検・指導(100%) 偶蹄類:2回、養鶏[千羽以上]:4回、[自家用]:1回 ・鳥インフルエンザ侵入監視 サーベイランス:四半期毎、モニタリング:3戸毎月実施
	③ 家畜伝染病防疫体制を確保し、万が一の発生に備えます。 <総合的な実地演習の実施 1回(27年度実績 1回)> <家畜伝染病の正しい知識の普及・啓発のために出前語らいを実施 1回(27年度実績 1回)>	◎	◎ ・総合訓練:平成28年11月22日実施 ・出前語らい:平成28年10月16日実施、平成29年3月26日実施
28 安心・安全な消費生活の実現を図ります。			
達成手段 (数値目標)	① 消費生活講座未実施の地域・団体等を中心に積極的に働きかけて、新たな消費生活講座を行い、被害の未然防止を図ります。 <新規受講団体数 10団体(27年度実績 9団体)>	○	◎ ・新規受講団体数 13団体(130%)
	② コンビニ等と連携し、特殊詐欺被害の水際対策を強化します。 <管内コンビニ等協力店舗 13店舗[28/29で管内全店舗](28年度新規)>		○ ・管内コンビニ等協力店12店舗(92%)
29 Xバンドレーダーの配備に関して、地域住民の安心・安全の確保に向けて関係機関と連携して課題の解決に取り組みます。			
達成手段 (数値目標)	① 地域交通の安心・安全を確保するため、道路整備を推進します。 国道178号(上野平バイパス、蒲入カマヤ工区、袖志工区)、国道482号(丹後弥栄道路 丹後工区)[事業促進](再掲)、浜丹後線(宮バイパス)[事業促進]、 大山地区[工区完成](再掲)	○	○ ・Xバンド全工区事業促進 ・蒲入カマヤ工区通行止め解除(H28.6.17)
	② 地域住民の安心・安全を確保するため、地元区長等と情報交換を行うなど住民の意向を把握し、安心・安全対策連絡会等を通じて、京丹後市と共同して米軍・国が適切な対応を行うように働きかけます。	◎	◎ ・連絡会等を通じた確認・要請(4回) ・定期的巡回(週1回)及び関係機関との連絡調整(37回)

運営目標		達成区分	達成状況(数値目標の実績・達成率 未達成の要因・理由)
30 遊泳者及びプレジャーボートの事故防止等により、海の利用についての安心・安全な環境づくりを推進します。			
達成手段 (数値目標)	① 市町及び地元警察署と連携して遊泳者及びプレジャーボートの事故の防止に向けて、海水浴場の適正利用の取組、狭い水路での安全走行の啓発等を推進します。	◎	◎ ・関係機関との対策協議(2回) ・届出海水浴場内における水難事故 死者2(対前年2増)、負傷1(対前年同)
31 地域活動団体をはじめとする住民との協働体制のもとで、新たな丹後地域を創造します。			
達成手段 (数値目標)	① 協働コーディネーター等による相談支援・情報共有や地域力再生プロジェクト支援事業による支援を通じて、地域力再生団体を育成します。 ＜支援団体数 延べ230団体(27年度実績 227団体)＞ ＜管内のNPO団体等が自らの取組を紹介し、団体間の交流を深める地域力再生イベントの開催 参加者 100人(27年度実績 92人)＞ ＜インターネット等を通じ、地域団体のイベントや活動等を発信 600件(27年度実績 497件)＞	○	○ ・支援団体数 延べ236団体(103%) ・地域力再生イベントの開催 参加者91人(91%) ・イベントや活動等の発信 541件(90%)
32 若者の丹後地域への愛着心を醸成する「TOMORROW丹後プロジェクト」の推進により、丹後が誇る文化を次代へつなぎます。			
達成手段 (数値目標)	① 丹後地域の食と文化を一堂に集めて開催する海の京都の一大イベント等において、地元高校生などに参画してもらうなど、次代を担う若者の丹後地域への愛着心を醸成します。 ＜丹後グルメフェスティバル、道1グランプリのジョイント開催 来場者数 50,000人(再掲)(28年度新規)＞ ＜丹後グルメフェスティバル等における若者(高校生等)の参画人数 200人(27年度実績 197人)＞		△ ・丹後グルメフェスティバル開催 33,650人(67%) 【未達成の要因・理由】 ・台風接近により、来園者が減少したため ・若者参画人数 218人(管内全6校 他)(109%)
	② 地域に誇りと愛着がもてる意識の醸成を図るため、小・中・高校生が、丹後の多様な魅力について学び、発表会やボランティアガイド(語り部)などを体験する機会を提供します。 ＜「TANGO魅力伝え隊」実施校 7校(27年度実績 8校)＞ 学習の成果及び活動状況等をまとめた冊子(「丹後ふるさと自慢草紙」第二集)の発行配付	△	◎ ○実施校 9校(128%) 宮津市立吉津小学校、宮津市立府中小学校 京丹後市立間人小学校、伊根町立本庄小学校 与謝野町立桑飼小学校、宮津市立宮津中学校 府立宮津高等学校、府立加悦谷高等学校 府立網野高等学校 ○「丹後ふるさと自慢草紙」第二集の発行配付(100%)
	③ 子どもたちの将来の夢や目的意識、挑戦する意欲を醸成するため、丹後にゆかりのある著名人やグローバルに活躍されている方々などによる講演会や体験教室を実施し、キャリア教育を提供します。 ＜「丹後の子どもドリームプロジェクト」の開催 2回(27年度実績 2回)＞		△ ○講演会開催 1回(50%) ・3/24(金)講師:宇宙飛行士 山崎 直子氏 【未達成の要因・理由】 第1回開催の日程調整等に時間を要し、講師謝金・旅費等経費も多額を要したため
33 命の里の再生とふるさと保全・農村再生活動を推進します。			
達成手段 (数値目標)	① 地域ぐるみで農山漁村地域の生産基盤や環境を守る活動を推進します。 ＜多面的機能支払の取組面積 4,300ha(27年度実績 4,300ha)＞		◎ 多面的機能支払の取組面積 4,323ha(101%)
	② 里の公共員による地域の課題解決を支援します。 ＜里の公共員の配置 3地区(27年度実績 3地区)＞		◎ 里の公共員の配置 3地区(100%)
	③ 地域資源を活かした地域オリジナルの「一村一業活動」を支援します。 ＜むらの活力向上事業 新規1地区(28年度新規)＞	○	◎ むらの活力向上事業 新規4地区(400%)

運営目標		達成区分	達成状況(数値目標の実績・達成率 未達成の要因・理由)		
④	<p>移住促進条例の制定を契機として、都市部からの移住・定住の促進を図るため、市町の行う空き家改修を支援するとともに、未婚者に出会いの場を提供する「コン活」等に取り組む地域を支援します。</p> <p><空き家改修 15件(27年度実績 12件)> <コン活等交流支援 5箇所(27年度新規)></p>	○	<p>空き家改修 20件(133%) コン活等交流支援 4箇所(佐濃、養老、大宮南、平田)(80%)</p> <p>【未達成の要因・理由】 交流ツアーが参加者少数で中止になったため</p>		
34	<p>市町や関係機関と連携した地域住民の活動支援等により、より利用しやすい公共交通ネットワークの実現をめざすととも 丹鉄年間利用者数200万人を目指します。</p>	○			
達成手段 (数値目標)	①		<p>駅舎トイレ改修の環境整備のほか、駅周辺の環境美化など住民参加の魅力ある駅舎づくりを支援するとともに、利便向上推進のための事業者への要望活動や鉄道ファンを対象としたイベントなどを実施し、地域住民に親しまれる鉄道づくりを推進します。</p> <p><魅力ある駅舎づくりや鉄道ファンイベント実施等の支援 20事業(27年度実績 19事業)></p>	○	駅舎づくり等 20事業(100%)
	②		<p>沿線住民への丹鉄利用啓発を行うとともに、丹鉄発着時刻と連動した会議時刻の設定を呼びかけるなどにより利用促進を図ります。</p> <p>局広報誌等による沿線住民への利用啓発や、Eメールにより職員の積極利用を喚起</p> <p><京都丹後鉄道利用者数 200万人(27年度実績 187万人[速報値])></p>	○	<p>月1回、Eメールにより職員の利用促進 局広報誌(元気な丹後ニュース)において利用啓発を実施 京都丹後鉄道利用者 181万人(91%)</p>

(年度末使用欄)

目標達成状況(達成区分)		件数	割合
目標達成「◎」	(達成手段のすべてが◎)	6	18%
概ね達成「○」	(達成手段の◎が2/3以上)	23	68%
未達成「△」	(達成手段の◎が2/3未満)	5	15%
計(運営目標数)		34	

【達成手段(数値目標)の達成区分】
「◎」…目標達成・上回って進捗(達成率100%以上)
「○」…概ね達成(達成率90%~100%未満)
「△」…未達成(達成率90%未満)